

第 12 章 平成 30 年度決算報告

1 概 要

地域の基幹病院として富士宮市民をはじめ山梨県を含む近隣市町住民の高度かつ多様化する医療需要に対応し、良質な医療を提供すべく、医療体制の充実、医療及び看護水準の向上、開業医との病診連携の推進、そして施設設備及び高度医療機器の整備に努めてまいりました。

当院も全国的な医師不足、医師の大都市や大病院への偏在化の影響等を受け、一部の診療科において診療体制の縮小を余儀なくされている状況が続いています。このような状況のなか、各診療科において積極的な入院及び外来患者の受け入れを行いました。診療報酬改定の影響などにより、昨年度に引き続き純損失を計上する結果となりました。

当院では、地域包括ケア病棟の稼働をはじめとした経営改善対策を継続し、経営の健全化に向けて増収及び経費節減に努めております。現在、整形外科、泌尿器科等の診療体制縮小が継続しておりますが、引き続き行っている医師確保対策により、平成 30 年度は整形外科の正規医師 2 人体制から 3 人体制へと増員となりました。なお、泌尿器科についても派遣医師の勤務体制の見直しにより、短期入院可能な体制となりました。この様な中、各診療科において積極的な患者の受入に取り組んでおり、特に整形外科では入院患者数が 11,996 人（前年度比 526 人増）、外来患者数が 6,041 人（前年度比 458 人増）と前年度よりも良好な実績となりました。

この他、人材確保対策として、将来の医師確保及び看護師等の確保を目的とした修学資金貸与制度に基づき、本年度は新たに看護学生 17 人に対して修学資金を貸与しました。

施設設備につきましては、地域包括ケア病棟の建設に着手し、次年度中の開設を予定しております。また、施設の長寿命化の一環として老朽化した設備を計画的に実施していくこととし、本年度は中央監視装置更新、直流電源装置更新、外壁改修、非常放送設備設置工事を実施しました。

医療機器につきましては、注射薬自動払出システム等を更新し、最新の医療機器による効果的な診療が行えるよう努めました。

入院部門は、年間延べ患者数 91,627 人（1 日平均 251 人）で対前年度比 1,224 人の減（1.3% 減）、病床稼働率は 71.7% で対前年度比 1.0% の減、平均在院日数は 11.6 日で前年度と同日になりました。延べ患者数は減少しましたが、患者一人一日当たりの診療収入額は対前年度比 780 円の増額となったため、入院収益は、対前年度比で 1,029 万 8 千円の増収（0.2% 増）となりました。

外来部門は、年間延べ患者数 127,685 人（1 日平均 523 人）で対前年度比 2,531 人の増（2.0% 増）となりました。延べ患者数は増加しましたが、患者一人一日当たりの診療収入額が対前年度比 556 円の減額となったため、外来収益は、対前年度比で 1,276 万 1 千円の減収（0.4% 減）となりました。

この結果、平成 30 年度は 11 億 2,102 万 7 千円の純損失となり、繰越欠損金 27 億 4,694 万 2 千円を加えた当年度未処理欠損金は 38 億 6,797 万円となりました。

2 業 務

(1) 事業収入に関する事項

医業収益は、対前年度比 0.1%（820 万 4 千円）減少し 76 億 6,761 万 1 千円となり、病院事業収益全体では、対前年度比 0.1%（656 万 4 千円）増加し 85 億 3,225 万 4 千円となりました。

(2) 事業費に関する事項

医業費用は、対前年度比 1.7%（1 億 5,727 万 9 千円）増加し 92 億 1,016 万 6 千円となり、病院業費用全体では、対前年度比 2.5%（2 億 3,273 万 5 千円）増加し 96 億 5,328 万 1 千円となりました。

3 会 計

(1) 重要契約の要旨

平成 30 度中の契約のうち 1 件 100 万円以上の契約は、以下のとおりです。

ア 建設改良費

(単位 円)

契 約 の 内 容	金 額	契 約 の 相 手 方
平成 30・31 年度地域包括ケア病棟建設工事(建築工事)	291,600,000	大石・明徳特定建設工事共同企業体
平成 30・31 年度地域包括ケア病棟建設工事(機械設備)	69,930,000	菱和設備・小野田特定建設工事共同企業体
平成 30・31 年度地域包括ケア病棟建設工事(電気設備)	41,148,000	マコト・富士宮特定建設工事共同企業体
中央監視装置更新工事	27,540,000	(株)テクノ菱和静岡支店
外壁改修工事	24,570,000	(株)大石組
直流電源装置更新工事	12,420,000	(有)石川電気工業所
非常放送設備設置工事	10,098,000	(株)富士宮電気
平成 30・31 年度地域包括ケア病棟建設工事監理業務	4,530,000	(株)梓設計中部支社

イ 医療器械器具

(単位 円)

契 約 の 内 容	金 額	契 約 の 相 手 方
注射薬自動払出システム	38,556,000	中北薬品(株)富士支店
食器洗浄機一式	23,220,000	富士アセチレン工業(株)
画像処理ユニット	21,060,000	協和医科器械(株)沼津支店
副鼻腔内視鏡手術システム	17,010,000	同 上
多用途透析用監視装置 3 式	9,882,000	(株)ムサシエンジニアリング静岡営業所
分娩監視セントラルシステム	9,720,000	(株)いわしや錦織医科器械
尿検査自動分析装置	8,424,000	(株)スズケン富士支店
スリットランプ	6,415,200	協和医科器械(株)沼津支店
人工呼吸器一式	5,108,400	(株)八神製作所三島営業所
病棟ベッド 15 台	4,816,800	(株)いわしや錦織医科器械
超音波画像診断装置	4,255,200	協和医科器械(株)沼津支店
非接触眼圧計	4,179,600	同 上
電気水圧結石破碎装置	3,520,800	同 上
電気手術装置一式	3,272,400	同 上
人工呼吸器	2,700,000	ディーブイエックス(株)
電気メス点検システム	2,237,760	同 上
除細動器一式	1,728,000	(株)八神製作所三島営業所

電子コンベックス探触子	1, 285, 200	協和医科器械(株)沼津支店
スポットビジョンスクリーナー	1, 198, 800	同 上
除菌脱臭装置一式	1, 134, 000	同 上
バックシーラー	1, 023, 840	同 上

ウ 備品

(単位 円)

契 約 の 内 容	金 額	契 約 の 相 手 方
病院情報システム更新のために調達する製品	691, 686, 000	日本電気(株)
病院情報システム更新のために調達する機器	253, 919, 016	同 上
財務会計・固定資産・予算編成システム更新	4, 475, 520	(株)フューチャーイン静岡支店
紙幣硬貨入出金機システム更新	4, 082, 400	ローレルバンクマシン(株)
災害用トイレ処理セット及び簡易トイレ	3, 715, 740	(株)平和防災産業
リモート保守システム機能強化機器一式	1, 266, 840	(株)T O K A I コミュニケーションズ
モバイルパソコン用大容量バッテリー(21台)	1, 202, 040	(株)ベイサン

(2) 企業債及び一時借入金の概況

ア 企業債

平成30年度の企業債は、医療機器整備事業分として5億3,840万円、病院施設設備整備事業分として4億260万円を借り入れました。概況は以下のとおりです。

借 入 先	前 年 度 末 未償還残高	本年度借入額	本年度償還額	本 年 度 末 未償還残高
地方公共団体金融機構	484, 519, 060	941, 000, 000	89, 170, 499	1, 336, 348, 561
計	484, 519, 060	941, 000, 000	89, 170, 499	1, 336, 348, 561

イ 一時借入金

該当事項はありません。

(3) その他会計経理に関する重要事項

該当事項はありません。

4 その他

(1) 決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実

該当事項はありません。